

『知と創造の拠点 名古屋大学の歴史（創立七〇周年記念
図録）』の編纂——新出写真資料の紹介を中心に——

中 元 崇 智

はじめに

一 『知と創造の拠点 名古屋大学の歴史』の編纂過程

二 本部事務局・各部局・生協・職員組合所蔵写真資料の収集経緯と特徴

(一) 経済学研究科・経済学部

(二) 法学研究科・法学部

(三) 理学研究科・理学部

(四) 総合保健体育科学センター

(五) 情報基盤センター

(六) 医学系研究科・医学部（附属図書館医学部分館）

(七) 医学部保健学科（附属図書館医学部分館保健学情報掛）

(八) 広報室

(九) 名古屋大学消費生活協同組合

(一〇) 名古屋大学職員組合

むすびにかえて

はじめに

本稿は、『知と創造の拠点 名古屋大学の歴史』（以下、『七〇周年記念図録』と略記）の編纂過程を概観した上で、本部事務局・各部局などに所蔵されていた新出写真資料とその特徴を紹介するものである。この『七〇周年記念図録』は二〇〇九年の名古屋大学創立七〇周年（創基一三八周年）を記念して、前身校から今日の名古屋大学に至るまでの歴史を、主に写真資料を中心に回顧するために編纂された図録であり、その構成は以下の通りである。なお、『七〇周年記念図録』に掲載した写真に関する資料の情報・出典については本稿末尾の目録を参照されたい。

名古屋大学 ノーベル賞受賞あいつぐ「自由闊達」の学府

I 創基から名古屋帝国大学の時代 一八七一一一九四六

II 新制名古屋大学の出発 一九四七一一九七〇

III 名古屋大学の発展 一九七一一一九八九

IV 国立大学法人名古屋大学へ 一九九〇―二〇〇九

資料編

一 『知と創造の拠点 名古屋大学の歴史』の編纂過程

『七〇周年記念図録』は、名古屋大学創立七〇周年記念事業の一環として、名古屋大学が編集・発行したものである。その経費は、記念事業に関する総長裁量経費から支出された。編集・発行の方針等については、総長、常勤理事、副総長、各部署の長、教育研究評議会評議員、事務局各部長などからなる名古屋大学創立七〇周年記念事業委員会によって決定されるが、特に、その下に、担当理事、関係部署の長（大学文書資料室を含む）、事務局の関係部長などからなる記念行事委員会が置かれ、記念式典で配布される『七〇周年記念図録』もそこで議論された。

具体的な編集は、大学文書資料室がおこなった。羽賀祥二室長の下、掲載写真の収集・選定・キャプション作成等は非常勤研究員（創立七〇周年記念事業担当）である筆者が担当した。また、各章の年表およびコラムは、記念事業担当非常勤研究員の今村直樹が担当した。さらに四名の事務補佐員が、筆者の業務を補佐した¹。そして堀田慎一郎室員が、こうした業務の統括や名大史資料のレファレンスをおこなった。

また、杉山寛行理事、高橋誠理事、重網伯明顧問、大学文書資料室（羽賀祥二室長以下、関係職員）、総務部秘書課（課長以下、関係職員）からなる執筆委員会が置かれ、編集内容のチェックを受けるとともに、多くの有益な指摘やアドバイスを得た。さらに校正にあたっては、杉山理事、河口正樹秘書課専門職員、久田淳子総務課主任の多大な協力を得た。

この『七〇周年記念図録』を制作する際に主たる参考材料としたのが、名古屋大学創立五〇周年を記念して一九九一年に刊行された『写真集 名古屋大学の歴史 一八七二〜一九九一』（以下、『写真集』と略記）であっ

た。² 同じく、名古屋大学創立五〇周年を記念して制作された『名古屋大学の歩み』や各学部から出版された記念写真集も参考にした。³ その他に、大学文書資料室が所有する戦前から戦後にかけての膨大な写真ファイル（目録では「NUA写真ファイル」とした）を編纂の基軸に据えた。これは『写真集』制作の際に、写真および接写写真に目録を付した大部のファイルであり、その一部が『写真集』に掲載されたものである。⁴

だが、上記の『写真集』や写真ファイルでは、特に一九七〇～八〇年代に関する写真と『写真集』が刊行された一九九一年以降の写真が決定的に不足していた。一九九一年以降の写真は、主に『七〇周年記念図録』の序章およびIV章で必要であった。これらについては、大学文書資料室所蔵資料や一九九三年から名古屋大学が発行している『名大トピックス』⁶などを参照した。

ところが、III章にあたる一九七〇～八〇年代に関する写真の不足は解消されなかった。また、II章の写真についても『写真集』に加えて、さらに補充する必要があった。そのため、筆者が二〇〇九年五月初旬より学内の本部事務局および各部に照会し、写真類や卒業アルバムなどの所在確認を行った上で、借用申請を行った。その結果、各一部局から以下のような写真を中心とする資料が収集された。次章では、各一部局から収集した主要な新出写真資料の収集経緯とその特徴を収集した写真とともにみていきたい。

二 本部事務局・各局局・生協・職員組合所蔵写真資料の収集経緯と特徴

(一) 経済学研究科・経済学部

経済学図書室に写真資料の所蔵について照会した結果、経済学部卒業アルバム一五冊が同室に所蔵されていることが判明し、借用した。経済学部卒業アルバムは、一九五七・一九五八・一九五九・一九六〇・一九六一・一九六二・一九六三・一九六四・一九六五・一九六六・一九六八・一九六九・一九七〇・一九七一・一九七二年の全一五冊であり、一九五〇年代が三冊、一九六〇年代が九冊、一九七〇年代が三冊であった。^⑦

経済学部卒業アルバムは、東山キャンパス移転前の桜山キャンパス時代（一九四八～一九五九年）の校舎・航空写真、東山キャンパス移転以降の名古屋大学の景観などが豊富に掲載されており、一九五〇～一九七〇年代における経済学部の変遷を見ることができる。当時の購買部の写真やゼミナールの様子など、学生生活の様相についても興味深い写真が多い。また、このアルバムは経済学図書室に所蔵されていたため、保存状態も良好であった。

『七〇周年記念図録』には、一九五六年度の桜山キャンパスの「経済学部正門」、「全景」（『七〇周年記念図録』二〇頁（以下、頁数のみを記す）、「求人票を見る学生」（二七頁）、「グリーンベルト周辺」（三〇頁）を掲載した。一方、桜山キャンパスの「全景」は、当時の特徴ある桜山キャンパスの建物群をしのぶことができる【写真①】。一方、一九七〇年頃に撮影された「グリーンベルト周辺」は、現在の附属図書館側から豊田講堂をのぞむものであり、当時の緑がまばらなグリーンベルトと東山キャンパスの様子がわかる【写真②】。



写真① 全景（桜山キャンパス航空写真・1956年頃）



写真② グリーンベルト周辺（1970年頃）

(二) 法学研究科・法学部

『七〇周年記念図録』刊行の直前、法学部では、『名古屋大学法学部創立60周年記念写真集』の刊行事業が進行中であつた(二〇〇九年七月刊行)。そのため、『名古屋大学法学部創立60周年記念写真集』刊行事業を担当していた法学研究科神保文夫教授を通じて、写真資料の借用依頼を行った。その結果、二〇〇九年七月に法学部卒業アルバム九冊および法学部落成直後のアルバム一冊を借用することができた。⁽⁸⁾

法学部より借用した卒業アルバムは、一九六〇・一九六二・一九七二・一九八一・一九八三・一九八八・一九九〇・一九九二・一九九三年の九冊である。教官・学生の個人写真以外には、ゼミ旅行・教養部(瑞穂キャンパス)の写真・一九六二年当時の滝子通りの様子など、学生生活をしのばせる写真がある。その中の一枚が、「法学部の学生たち(一九六二年卒業生)」である(二七頁)。他にも名大祭や一九六九年の大学紛争時に教養部が封鎖された際の写真などがあり、学内イベント関係の写真も数多く見られる。一九八〇年代後半以降、卒業アルバム自体のこうした性格が大きく変容し、パロディ色を強める一方、カラー写真が増加する。その中には、法学部玄関写真(一九八三年)や航空写真(一九九〇年)などもある。注目すべきは、「法学部落成直後 建物」と付箋が貼られたアルバムである。⁽⁹⁾この写真には法学部や豊田講堂が写されているが、法学部の東山移転は一九五九年七月であり、豊田講堂の躯体工事が一九六〇年三月六日に完了していることから、これらは一九六〇年三月以降に撮影された写真と推測される。⁽¹⁰⁾

現在、法学部校舎と四谷通りの間は鬱蒼とした木々が繁茂しているが、この写真アルバムによると、当時は草木もまばらで、植樹が始められたばかりであることがよくわかる。また、四谷通りも未舗装であり、四谷通りと名古屋大学の敷地の間にもほとんど敷居がないなど、現在の法学部キャンパスと対比すると大変興味深い。

(三) 理学研究科・理学部

理学研究科物質理学専攻(化学系)の田中健太郎教授を通じて、「理学研究科物質理学専攻所蔵資料」および「化学図書所蔵卒業アルバム資料」を借用した。「理学研究科物質理学専攻所蔵資料」はグラビア印刷用刷版(銅版)を中心とする写真類と、「化学教室名簿」・「名古屋大学江上研究室関係者名簿」などの文書資料類、モノ資料である「化学教室看板」などから構成されている。

これらの中で、貴重なものが銅版である。これは合計一八枚あり、発見されたときは小包の中に新聞を間に挟む形で保存されていた。これらの銅版は原図をゼラチン膜によって銅板に転写し、銅板にインクを塗り込んで紙に印刷するグラビア印刷という手法で使用されたと推測される。この銅版は一九四四年から一九五七年までの卒業記念写真が中心であるが、一九五七年の移転まで化学教室が使用した理学部三号館・四号館を撮影した「東山の理学部校舎」(一四頁)のような写真もある。「理学部化学科第2回卒業生(一九四五年)」(一四頁)は、敗戦直後の一九四五年九月に旧制時代の理学部化学科の学生・教官を撮影した貴重な卒業写真である【写真③】。当時の学生や戦時下で着用された国民服姿の教官も写っており、非常に興味深い。

「理学部化学科新制第4回卒業生(一九五六年)」(二二頁)は、新制第4回卒業生の写真であり【写真④】、扉の横に小さく見えるのが「化学教室」と墨書された木製の看板である(二二頁)。この看板は現在も理学研究科物質理学専攻で大切に保存されており、一九五〇年代当時の化学教室の姿を今に伝える貴重なものである【写真⑤】。また、「理学部化学科新制第4回卒業生(一九五六年)」は女子学生が三名写っていることも大きな特徴である。敗戦直後の男性だけが写った【写真③】と比較すると、女性が大学に進学し始めた当時の世相がうかがえよう¹¹⁾。これらの銅版は、草創期の名古屋大学理学部の姿を今に伝える貴重なものである。



写真③ 理学部化学科第2回卒業生（1945年）



写真④ 理学部化学科新制第4回卒業生（1956年）



写真⑤ 保存されている化学教室看板

なお、「化学教室名簿」は一九五七年に理学部化学教室談話会によつて作成された名簿である。これは、第1回卒業生（一九四四年）第15回（新制5回）卒業生（一九五七年）および大学院修士課程の第2回（一九五六年）・第3回卒業生（一九五七年）の銅版から印刷された写真によつて構成されている。

一方、「化学図書室所蔵卒業アルバム資料」は、理学部数学科・物理学科の卒業アルバム二冊（一九七二・一九七五・一九八〇・一九八一・一九八二・一九八三・一九八四・一九八五・一九八六・一九八七・一九八八年・年代不詳一冊）が中心である。また、「会計帳」（一九四一・一九四二年）、「入学写真」（一九四二・一九四三・一九四四年）など、戦前の資料や写真類も若干含まれている。

（四）総合保健体育科学センター

総合保健体育科学センターに資料照会を行ったところ、「名古屋大学総合保健体育科学センター概要」（一九九九年）他、数点の資料の存在が判明し、借用の許可を得た。この「概要」では、東山キャンパス内の第一・二・三・四・五の各体育館や、新体育館、屋内プールなど、総合保健体育科学センターの主要施設がカラー写真で紹介

されている。また、その他に、テニスコートの写真や保健管理室の外観、診察器具など設備の写真も存在する。

(五) 情報基盤センター

情報基盤センターは一九七一年に設立された大型計算機センターを母体とする。情報基盤センターに資料の所蔵を照会したところ、大型計算機センター時代の写真アルバムが存在することが判明、借用した。

情報基盤センターから借用したアルバムは合計六冊であり、一冊の中に複数年度の写真が入ったアルバムも二冊ある。(一九七〇・一九七二・一九七三・一九七六・一九七七・一九七九・一九八一年)。このアルバムで最も古い一九七〇年は、「新館竣工披露写真集」のアルバム名称に表されるように大型計算機センターの建設工事が開始された年であり、最も新しい一九八一年は大型計算機センター一〇周年記念式典を撮影したものである。¹⁹⁾つまり、大型計算機センターの設立から一〇周年記念式典が挙行されるまでの歴史をこの写真資料から見ることができる。

また、これらのアルバムの中には発足当時の大型コンピュータの写真や入力室の写真なども保存されている。これらのアルバムは、「新システム披露式(昭和五十四年二月一日)」という名称に代表されるように、コンピュータの搬入・搬出の様子も撮影しており、コンピュータの発展とともに歩んできた大型計算機センターの性格をよく表しているといえよう。

(六) 医学系研究科・医学部(附属図書館医学部分館)

附属図書館医学部分館にアルバム資料の所蔵照会を行った結果、医学部分館史料室所蔵アルバムの内、特に『七〇周年記念図録』作成に必要と判断した卒業アルバム八冊(一九六五・一九六六・一九六七・一九六八・一九七〇・



写真⑥ 医学部外来診療棟（1970年頃）

一九七一・一九七四・一九七五年）を借用した。この医学部卒業アルバムの特徴は学生生活の写真が豊富に掲載されていることである。コンパや学生食堂の様子、名大祭など、多彩な写真が存在する。また、サークル関係の写真も数多く、『七〇周年記念図録』にも、「医学部馬術部（一九六六年頃）」（二七頁）・「医学部エーデル・レーテ（一九六六年頃）」（二七頁）を掲載した。また、一九六〇～七〇年代の鶴舞キャンパスの写真もあり、一九七〇年頃の「医学部外来診療棟」の写真を『七〇周年記念図録』に掲載した（二三頁）【写真⑥】。他には一九六九年の大学紛争関係の写真もあり、「名大全学総決起集会」の写真（二五頁）など、大学紛争時の緊迫した状況がうかがえる。

（七）医学部保健学科（附属図書館医学部分館保健学科
報掛）

医学部保健学科は、一九七七年に名古屋市大幸地区に併設された医療技術短期大学部を母体とし、一九九七年一〇月に設立された。この医療技術短期大学部時代の写真資料

の有無について、附属図書館医学部分館保健学情報掛に問い合わせを行った結果、保健学情報掛を通じて卒業アルバム五冊・アルバム一二冊などを借用することができた。

卒業アルバムは、一九八三・一九九三・一九九四・一九九五・一九九六年のものであり、医療技術短期大学部時代のキャンパス生活をうかがうことができる。

また、アルバムは主に医療技術短期大学部時代の入学式・卒業式関係が中心であり、共通第一次学力試験、合格発表など、学校行事関係の写真も含まれる。刊行年は、一九八二～一九八八年であり、年代不詳のアルバムも一点あった。また、「短大校舎（一九八五年）」や、「改修工事後の校舎（年代不詳）」の写真なども存在し、医療技術短期大学部時代の校舎の外観や内部の写真などをみることができている。

（八）広報室

二〇〇九年五月、広報室から大学文書資料室に段ボール箱三箱分の資料が移管された。その中には、一九七四年～一九九九年までのアルバム三六冊と写真およびスライドをまとめたファイル一冊、他に未整理の写真多数およびネガ・スライド類があり、『名古屋大学の歩み』や『名大トピックス』など、学内刊行物に採用された写真類も含まれている。その後、広報室から新たに写真ファイル六冊（二〇〇二年一月～二〇〇四年一月分）を借用した。この写真ファイルには撮影した写真だけでなく、ネガやCD-R、データの紙焼きなども含まれていた。

広報室が学内刊行物作成のために撮影した写真アルバムという性格から、大学内の行事や建物に関する写真がほとんどである。その内容は多彩であり、一九七〇年代の写真では各部署の建物（『学内写真集（昭四九・一〇～昭四九・一一撮影）』）や名大祭、入学式、海部俊樹文部大臣の学内視察（『学内写真集（昭五二・一～昭五二・一一）』）

などがある。

また、一九八九年一月九日に開催された『名古屋大学創立五十周年記念式典』と題する写真アルバムも保存されており、その中の一枚を「名古屋大学創立五十周年記念式典」（三二頁）として『七〇周年記念図録』に掲載した。最近の写真ファイルでは、センター試験、キャンパスクリーン、地下鉄開通記念コンサートなどの写真も掲載されており、名古屋大学の年中行事などをたどることができる（『写真 H一五・一〇～H一六・二一九』）。

（九）名古屋大学消費生活協同組合（以下、「生協」と略記）

生協の写真アルバム類は、生協本部にネガなどとともに保存されており、生協側の協力により『七〇周年記念図録』編纂に必要な二五点を借用した。

借用した資料は、「名古屋大学生協創立50周年 50年の歩み、そして未来へ」という生協創立五〇周年を記念するパンフレットを除いて、写真アルバムやアルバムに挟み込まれていた封筒入りの写真類であった。年代は一九四九～一九七三年まで存在した名古屋学生会館の写真である。「名古屋学生会館関係写真資料」が最も古く、他に、一九六〇年代が二点、一九七〇年代が一点、一九八〇年代が一点、二〇〇〇年代が一点、年代不詳が四点の全二五点であった。特に、一九七〇年代後半の写真資料が最も多く、一・二点が一九七五～七九年の写真アルバムであった。

写真資料の内容は、①生協施設関係（生協の新築やそれに併せて行われた祝賀会、施設紹介と題したアルバムが多い）、②生協のイベント関係（生協強化月間や教職員交流会、セールなど）、③学生生活関係（名大祭など）、④その他（大学紛争・食堂喫茶の施設改善や「名古屋学生会館関係写真資料」など）に大別される。①生協施設関係

の写真では、一九七七年の北部厚生会館完成祝賀会や南部購買部の様子に加えて、現在は営業していない南部喫茶や寿司店など、名大内の各店舗の写真が残されている。また、②生協のイベント関係では、サマーセール、試食会や生協強化月間に実施された夕食バイキングの様子、③学生生活関係としては、一九七一年の名大祭などがある。④その他には、一九六九年の大学紛争関係の写真が充実しており、「活動者会議」（一九六九年五月二二日）、「豊田講堂内での団交」（五月二〇日）、「全学集会」（五月二三日）、「本部封鎖」（五月二八日）というように、大学紛争の経過の一部を追うことができる。なお、学生生活実態調査によって再現された「現代の下宿」（一九八一年当時）などの写真も残されている。

生協所蔵アルバム資料から『七〇周年記念図録』に、一九六九年の大学紛争関係の写真として、「豊田講堂前での全学団交」（二二五頁）・「封鎖された本部」（二二五頁）を掲載した。特に、「豊田講堂前での全学団交」は豊田講堂前の広場を埋め尽くして団交が行われている様子が印象的である【写真⑦】。また、学生生活関係では一九六〇年代の学生生活を示す「名大祭仮装行列」（二七頁）や「東山キャンパス内の生協本部」（二七頁）の写真も掲載した。さらに、一九七〇年代の学生生活の写真として、「一九七七年頃の中央食堂」（三五頁）【写真⑧】や「生協購買部」（三五頁）の写真も掲載し、一九六〇～七〇年代にかけての学生生活の変容が視覚的に理解されるように試みた。

（一〇）名古屋大学職員組合

名古屋大学職員組合に資料照会を実施したところ、段ボール箱二箱分の写真資料の存在が明らかになった。しかし、アルバムに整理された写真は一部であり、他は紙のケースや菓子の缶に一括された状態であった。そのため、写真資料の整理や年代推定に困難をきたすこととなった。また、『七〇周年記念図録』編纂の最終段階で資料の所



写真⑦ 豊田講堂前での全学団交（1969年）



写真⑧ 1977年頃の中央食堂

在が判明したため、この資料群を『七〇周年記念図録』に十分生かすことはできなかった。

基本的には、職員組合の諸活動（政治運動・レクリエーション・職員大会など）に関係する写真資料が大半である。しかし、大学入試関係の写真や、一九七〇～八〇年代における学内の景観に関する写真なども含まれており、当該期の写真が比較的少ない名古屋大学としては貴重なものである。また、写真ではないが、一九八七年に制定された名古屋大学平和憲章の制定過程に関する文書や、パンフレットなどをまとめたファイル三冊も貴重である。

さらに、平和憲章に関与した職員組合が撮影した平和憲章制定シンポジウムに関する写真や、飯島学長の名大平和憲章実現新入生歓迎講演会の様子なども残されている。なお、Ⅲ章に「教養部改革シンポジウム」（三二頁）が掲載された。一九七〇年代の写真資料、特にⅢ章の「教養部改革」では写真が不足していたため、当該資料は貴重であった。

むすびにかえて

本稿では、『七〇周年記念図録』の編纂過程を概観し、本部事務局や各部局・生協・職員組合に所蔵されていた新出写真資料の紹介を行った。その編纂過程では、『写真集』編纂時に発見されなかった、写真資料を多数発見することができた¹³⁾。これらの写真資料は、名古屋大学の現在に至るまでの歴史を知る上で貴重なものといえよう。

だが、課題も残されている。それは、ある意味当然のことではあるが、本部事務局・各部局間で、写真資料の残存状況に大きな差があったことである。例えば、ある部局では全く写真資料が存在しない一方、管理が行き届いた部局、あるいは研究室単位の引き継ぎが正確に行われている部局では、多くの写真資料が保存されていた。

また、各学部間で共通していたのは、一九七〇～八〇年代の写真資料の保存状況があまり芳しくなかったことである。

こうした課題に対応するためには、今後これらの写真資料をどのように保存するか、名古屋大学としての統一的な基準が作成される必要があるだろう。その結果、大学文書資料室にこれら写真資料が一元的に管理されることが望ましいことはいうまでもない。そして、それは今後の名古屋大学における年史編纂事業においても非常に有益であると考えられる。

『七〇周年記念図録』掲載写真資料一覧

頁数	番号	写真資料タイトル	写真情報	年月日	備考
口絵	1	名古屋大学整備計画 1/6000	東山地区 鶴舞地区	1960	『名古屋大学概要』昭和35年版
1	1	ごあいさつ	名古屋大学総長 濱口道成		
名古屋大学 ノーベル賞受賞あいつぐ「自由闊達」の学府					
2	1	中日新聞	野依名大教授にノーベル賞	2001.10.11	
2	2	メダルを手にする野依良治教授		2001.12.10	共同通信社提供
2	3	(野依良治特別教授の直筆色紙)			総長室所蔵
2	4	名古屋大学へ移った頃	前列中央が野依良治特別教授	1968	
3	1	ノーベル化学賞を受賞する野依良治教授			共同通信社提供
3	2	ノーベル化学賞受賞記念講演会		2001.12.26	
3	3	ノーベル化学賞受賞記念碑を前に		2001.12.28	
4	1	ノーベル賞受賞式 メダルを手にする小林誠博士、益川敏英博士、下村脩博士			共同通信社提供
4	2	(小林誠特別教授の直筆色紙)		2009.2.6	総長室所蔵
4	3	(益川敏英特別教授の直筆色紙)		2009.2.6	総長室所蔵
4	4	(下村脩特別教授の直筆色紙)		2009.3.26	総長室所蔵
4	5	中日新聞	名大トリオ金字塔	2008.12.11	

4	6	(ノーベル賞受賞を祝う横断幕)	豊田講堂の横断幕			
5	1	ノーベル物理学賞受賞記念講演	益川敏英特別教授	2008.12.8		
5	2	ノーベル物理学賞受賞記念講演	小林誠特別教授	2008.12.8		
5	3	大学院時代の益川敏英特別教授と小林誠特別教授				
5	4	2人が在籍した E 研のセミナー	右から 3 番目が坂田昌一教授	1960		素粒子論研究室 (E 研) 所蔵
6	1	名古屋大学レクチャーセッション授与式		2009.3.26		
6	2	第 3 回平田義正メモリアルレクチャーにて講義を行う下村特別教授		2007.2.6		
6	3	ごすもす保育園児からプレゼントを渡される喜ぶ下村特別教授	名古屋大学レクチャーにて	2009.3.26		
6	4	GFP (緑色蛍光たんぱく質) について説明する下村特別教授	名古屋大学レクチャーにて	2009.3.26		
6	5	名古屋大学時代の下村特別教授				個人蔵
1	創基から名古屋帝国大学の時代 1871-1946		年表			
7	1	名古屋帝国大学の誕生を報じる大阪朝日新聞		1939.4.2		朝日新聞名古屋本社提供
8	1	1884 年頃の愛知医学校・愛知病院	堀川から見た全景	1884 頃		附属図書館医学部分館医学部史料室所蔵 (一部修正してある)
9	1	渋沢元治 初代総長				

9	2	愛知医大記念祭パンフレット				『写真集 名古屋大学の歴史』p. 38
9	3	名古屋帝国大学 西二葉町校舎	校門と校舎		1939.9.1	中日新聞社提供 (NUIA 写真ファイルF4)
9	4	名古屋帝国大学之印				大学文書資料室所蔵
10	1	内藤東甫『張州雑志』				名古屋市蓬左文庫所蔵
10	2	伊藤圭介の編集した動物誌・植物誌に描かれた動植物				『錦築図譜の世界』(附属図書館2003年度展示会図録)表紙
10	3	伊藤圭介(1803-1901)	写真左		1865	『写真集 名古屋大学の歴史』p. 2
10	4	『泰西本草名疏』	シーボルトから贈られた『日本植物誌』を記述編集したもの		1829	『錦築図譜の世界』(附属図書館2003年度展示会図録)p. 4
11	1	「明治初年愛知県公立病院外科手術の図」	左端で和服姿に眼鏡をかけたのがローレツ、中央で洋服姿・片膝立ちで執刀しているのが、後藤新平であると言われている		1880頃	附属図書館医学部分館医学部史料室所蔵
11	2	後藤新平 26歳	愛知医学校長兼病院長当時			奥州市立後藤新平記念館提供
11	3	愛知県立医学専門学校正門遺構	復元保存、国の登録有形文化財			

11	4	鶴舞に移転後の愛知県立医学専門学校	正門と校舎			『写真集 名古屋大学の歴史』p. 23
12	1	鶴舞公園の竜ヶ池から見た愛知県立医学専門学校				『大正六年 愛知県立医学専門学校記念帖』(大学文書資料室所蔵)
12	2	県立愛知医科大学 組織学実習			1926 頃	個人蔵 (NUA 写真フォル A41)
12	3	第八高等学校校舎	航空写真		1933年5月頃	中日新聞社提供
12	4	八高学園祭のシンボル「大八高生」				『第八高等学校学寮史』(NUA 写真フォル A18)
12	5	八高野球部の対四高戦勝利			1925	第八高等学校『瑞穂丘物語』(NUA 写真フォル A16)
12	6	第八高等学校正門遺構	博物館明治村に現存			
13	1	名古屋高等商業学校 商工心理学実験			1926 頃	『名高商 1926 年アルバム Memoria』(NUA 写真フォル A10)
13	2	名古屋高等商業学校校舎				『名高商 1926 年アルバム Memoria』(NUA 写真フォル A9)
13	3	岡崎高等師範学校校舎				『岡崎高等師範学校誌』口絵、p. 1
14	1	名古屋帝国大学開学記念絵はかき			1943.5.1	大学文書資料室所蔵

14	2	名古屋帝国大学開学記念絵はがき		1943.5.1	大学文書資料室所蔵
14	3	名古屋帝国大学初代総長 渡沢元治		1943	『写真集 名古屋大学の歴史』p. 50
14	4	東山の理学部校舎		1940年代	理学研究科物質理学専攻所蔵
14	5	理学部化学科第2回卒業生		1945.9	理学研究科物質理学専攻所蔵
14	6	東山に建設中の理学部校舎	手前が3号館、奥が4号館		NUA 写真ファイル A11
15	1	ボートを楽しむ名帝大の学生たち		戦前	個人蔵 (NUA 写真ファイル F11)
15	2	戦時下の「国際交流」	日本人学生と揚輝荘衆善寮の留学生 (中国・タイ・モンゴル)	戦前	個人蔵 (NUA 写真ファイル F11)
15	3	スキーを楽しむ名帝大の学生たち		戦前	個人蔵 (NUA 写真ファイル A3)
15	4	1942年度理学部化学科授業時間表		1942年度	個人蔵 (NUA 写真ファイル C14)
15	5	名古屋帝国大学医学徒報国際隊の無医村診療		1942	『医者のない村へ』(NUA 写真ファイル A12)
15	6	空襲前の医学部	鶴舞公園側から見た校舎		『写真集 名古屋大学の歴史』p. 88
15	7	空襲直後の医学部	焼け残った附属図書館	1945	『写真集 名古屋大学の歴史』p. 88

コラム	名古屋大学の学術資源①				
16	1	木曾馬「第三春山号」の骨格標本			博物館所蔵
16	2	生き写しの模写 ムラージュ	天然痘のムラージュ		博物館所蔵
16	3	奈良坂源一即関係資料	奈良坂源一即『蝨魚図譜』		博物館所蔵
16	4	大道寺家文書	写真は、年頭挨拶に対する徳川吉宗からの返礼文書		博物館所蔵
16	5	ヨンゾグハンス『原生要論』			附属図書館医学部分館医学部史料室所蔵
II	新制名古屋大学の出発 1947-1970			年表	
17	1	豊田講堂完成	正面から見た豊田講堂	1960	『名古屋大学豊田講堂』(大学文書資料室所蔵)
18	1	田村春吉 第二代総長			
18	2	勝沼精蔵 第三代総長			
18	3	新制名古屋大学の印章			大学文書資料室所蔵
19	1	松坂佐一 第四代総長			
19	2	篠原卯吉 第五代学長			
19	3	第1回 名大祭パンフレット		1960.6.3～6	大学文書資料室所蔵
19	4	1965年当時のプラズマ研究所	航空写真	1965	『プラズマ研究所 10年のあゆみ』
19	5	大学紛争・教養部封鎖		1969.12	個人蔵 (NUA 写真ファイル F13)

20	1	1960年当時の名城キャンパス	航空写真 天守閣は再建 済	1960.4.6	中日新聞社提供 (NUA写真フライル F5)
20	2	教育学部中庭			NUA 写真フライル A5
20	3	法学部研究棟			『名古屋大学学報』313号 別冊、p.31
20	4	経済学部正門		1956頃	『経済学部卒業アルバム 1957』
20	5	桜山キャンパス全景	航空写真	1956頃	『経済学部卒業アルバム 1957』
20	6	1954年頃の安城キャンパス	航空写真	1954頃	『名古屋大学学報』322号、 表紙
20	7	農学部本館	本館・本館前の圃場		個人蔵 (NUA 写真フライ ル A21)
21	1	名古屋大学新聞	東山総合学園計画に関する 記事	1956.5.25	名古屋大学附属図書館所 蔵
21	2	整備が進む 1955年頃の東山キャンパス	航空写真	1955頃	個人蔵 (NUA 写真フライ ル F2)
21	3	1955年頃の工学部	校舎と道路	1955頃	個人蔵 (NUA 写真フライ ル A11)
21	4	鏡ヶ池より工学部2号館を望む		1957	『工学部卒業アルバム 1953』(NUA 写真フライ ル A2)

21	5	理学部化学科新制第4回卒業生		1956	『化学教室名簿』（理学研究科物質理学専攻所蔵）
21	6	保存されている化学教室看板	新制第4回卒業生卒業当時（1956年）掲げられていた看板		理学研究科物質理学専攻所蔵
22	1	東山キャンパスと豊田講堂	竣工記念パンフレット	1960	『名古屋大学豊田講堂』（大学文書資料室所蔵）
22	2	「豊田講堂」	記事	1960.5.11	『日刊建設通信』1960年5月11日号（大学文書資料室所蔵）
22	3	正面から見た豊田講堂		1963.9	個人蔵（NUA写真ファイルG7）
22	4	豊田講堂完成記念ブツクエント		1960.5	大学文書資料室所蔵
22	5	古川図書館竣工	豊田講堂テラスから見た古川図書館	1964 竣工	NUA 写真ファイル E9
23	1	1960年の鶴舞キャンパス	航空写真	1960.4.18	NUA 写真ファイル A51
23	2	医学部外来診療棟		1970	『医学部卒業アルバム1970』
23	3	空電研究所第1号太陽雑音受信装置と勝沼精蔵総長		1951.3	NUA 写真ファイル G20
23	4	パラボラアンテナを大量に設置し始めた頃の豊川キャンパス			太陽地球環境研究所提供
24	1	救援物資を集める学生		1959	中日新聞社提供

24	2	被災者救援活動		1959	『写真集 名古屋大学の歴史』 p. 150、151
24	3	被災者救援の感謝状をもつ学生	表彰状と記念品の時計を携えての記念写真		『医学部卒業記念アルバム 昭和 35 年度』(NUA 写真ファイル A60)
24	4	名大祭仮装行列	「耳なし信介」のプラカードと岸信介の人形	1960	『写真集 名古屋大学の歴史』 p. 154
24	5	安保改定反対デモ	デモ行進する学生たち	1960	『医学部卒業記念アルバム 昭和 35 年度』(NUA 写真ファイル A62)
24	6	医学部インターン闘争		1965	『医学部卒業記念アルバム 昭和 40 年度』(NUA 写真ファイル A66)
25	1	豊田講堂前での全学団交		1969.5	『生協所蔵アルバム』
25	2	封鎖された本部		1969.5	『生協所蔵アルバム』
25	3	デモを行う学生たちとそれを監視する機動隊の車輛		1969.12	個人蔵 (NUA 写真ファイル F13)
25	4	名大全学総決起集会		1969.12.18	『医学部卒業アルバム1970』
25	5	(芦田学長名で出された凶器の学内持ち込み禁止に関する掲示)		1969.12.23	名古屋大学教養部史関係資料 (大学文書資料室)
26	1	名城キャンパスの食堂			NUA 写真ファイル A5
26	2	石炭ストーブで暖をとる学生たち		1963 頃	『教育学部卒業アルバム 1963』

26	3	公用車で実習に向かう学生たち		1964 頃	『医学部卒業記念アルバム昭和 39 年度』(NUIA 写真ファイル A65)
26	4	医学部授業風景		1966 頃	『医学部卒業アルバム 1967』
26	5	菫ヶ池にて	ボートを操る学生たち	1957 頃	『医学部卒業記念アルバム昭和 32 年度』(NUIA 写真ファイル A58)
26	6	コンパ (瑞穂キャンパス)		1955.12	『写真集 名古屋大学の歴史』p.145
26	7	フオークダンス研究会		1958 頃	『経済学部 1958 年度卒業アルバム』(NUIA 写真ファイル A49)
26	8	医学部購買		1961 頃	『医学部卒業記念アルバム昭和 36 年度』(NUIA 写真ファイル A63)
27	1	法学部の学生たち (1962 年卒業生)	屋上での集合写真	1962 年	『法学部卒業アルバム 1962』
27	2	喫煙寮			中日新聞社提供 (NUIA 写真ファイル F5)
27	3	医学部エーデル・レーテ	鶴舞公園にて	1966 頃	『医学部卒業アルバム 1966』
27	4	医学部馬術部		1966 頃	『医学部卒業アルバム 1966』

27	5	名大祭仮装行列		1969 頃	『生協所蔵アルバム』
27	6	理学部大学祭		1964 頃	『昭和 39 年度 物理卒業アルバム』(NUA 写真フレイム A14)
27	7	求人票を見る学生		1958 頃	『経済学部卒業アルバム 1958』
27	8	東山キャンパス内の生協本部			『生協所蔵アルバム』
コラム 名古屋大学の学術資源②					
28	1	電子顕微鏡	写真 1 は国産初の HU-2 型電子顕微鏡、写真 2 は 125 万ボルト超高圧電子顕微鏡		エレクトロナ科学研究所超高圧電子顕微鏡施設所蔵
28	2	ヒルベルト文庫	写真はヒルベルト本人のものと思われる書き込み		数理科学図書室所蔵
28	3	石井文庫	写真 1 は書庫、写真 2・3 は「広益地錦抄」(享保 4 [1719] 年)		生命農学図書室所蔵
28	4	渋沢元治関係資料	『草創期の名古屋大学と初代総長渋沢元治』(名大史ブックレット 6) 表紙と、書庫		大学文書資料室所蔵
III 名古屋大学の発展 1971 - 1989					
29	1	中央図書館完成	年表	1981	『学生便覧』昭和 57 年版、表紙

30	1	芦田淳 第六代学長				
30	2	石塚直隆 第七代学長				
30	3	グリーソンベルト周辺			1970頃	『経済学部卒業アルバム1970』
31	1	飯島宗一 第八代学長				
31	2	早川幸男 第九代学長				
31	3	第25回 名大祭パンプレット	反攻		1984.6.5～10	大学文書資料室所蔵
31	4	平和憲章ポスター				『写真集 名古屋大学の歴史』p.217
31	5	名古屋大学創立五十周年記念式典			1989.11.9	『名古屋大学創立五十周年記念式典』（大学文書資料室所蔵）
32	1	『名大ニュース』	4年一貫教育検討委員会の 答申について		1977.9.1	
32	2	名古屋大学新聞	名大改革委員会で一致 教養学部を設立		1975.4.10	
32	3	教養部改革シンポジウム			1978.2.4	職員組合提供
32	4	教養部改革調査報告書	平成元年・平成2年・平 成3年		1989～1991	大学文書資料室所蔵
33	1	タイ チュラロンコン大学代表団の来訪	中央は早川学長		1988	
33	2	サンジヤイ・ガンジー医科学研究所との医 療協力協定の調印			1990	『写真集 名古屋大学の歴史』p.214

33	3	工学研究科土木工学専攻留学生特別コース 開設式		1987	『写真集 名古屋大学の歴史』 p. 215
33	4	留学生懇親パーティー		1988	
33	5	インターナショナルレジデンス		1982	『写真集 名古屋大学の歴史』 p. 213
34	1	情報処理教育センター			NUA 写真ファイル B3
34	2	大型計算機センター			
34	3	年代測定資料研究センター			『タンデトロロン加速器質量分析計放射性炭素計測システム』表紙
34	4	省資源エネルギー研究センター			『写真集 名古屋大学の歴史』 p. 194、195
34	5	遺伝子実験施設			
34	6	アイソトープ総合センター			NUA 写真ファイル B2
34	7	先端技術共同研究センター		1990頃	『先端技術共同研究センターニュース 施設竣工記念特集号』裏表紙
34	8	総合保健体育科学センター	体力測定中の瀬古利彦		『写真集 名古屋大学の歴史』 p. 200
34	9	水圏科学研究所			NUA 写真ファイル B1
35	1	経済学部ゼミナール風景			『写真集 名古屋大学の歴史』 p. 177

35	2	農学部学生実験				『写真集 名古屋大学の歴史』p. 185
35	3	1977年頃の中央食堂		1977頃		『生協所蔵アルバム』
35	4	生協購買部		1979頃		『生協所蔵アルバム』
35	5	法学部 L1-21 クラス入学時集合写真		1973		個人蔵
35	6	アメリカソングトボール部				『写真集 名古屋大学の歴史』p. 209
35	7	名古屋大学交響楽団創立30周年記念 第47回定期演奏会		1985		「名古屋大学交響楽団資料」(大学文書資料室寄託)
コラム		名古屋大学の学術資源③				
36	1	高木家文書	写真1は木曾三川流域大絵図(幕末頃)、写真2は普請目論見絵図(宝暦3[1753]年)			附属図書館所蔵
36	2	神宮皇学館文庫	写真1は『源氏物語』桐壺の巻(近世前期写)、写真2は奈良絵本『さころも』(近世前期写)			附属図書館所蔵
36	3	青木文庫	写真1は「嵯池に寿を上る」図(『新春画冊』第一)、写真2は「三国志演義」の場面を描いたもの(『新春画冊』第二)			附属図書館所蔵

36	4	伊藤圭介文庫	『錦築植物図説』に描かれたフヨウ (写真1) とツバキ (写真2)		附属図書館所蔵
IV 国立大学法人名古屋大学へ 1990-2009 (年表)					
37	1	豊田講堂改修竣工	正面から見た豊田講堂	2007	
38	1	加藤延夫 第十代総長			
38	2	松尾稔 第十一代総長			
38	3	名大トビックス創刊号		1993.2	
38	4	情報文化学部設置	記念式典の写真、加藤総長の挨拶	1993.10.1	
39	1	平野眞一 第十二代総長			
39	2	濱口道成 第十三代総長			
39	3	国立大学法人名古屋大学発足		2004.4.1	
39	4	第50回 名大祭パブリックレポート	愛されて、ほんせいき	2009.6.5～7	大学文書資料室所蔵
39	5	国立大学法人名古屋大学の印			
40	1	赤崎勇	高等研究院アカデミー会員		
40	2	飯島澄男	高等研究院アカデミー会員		
40	3	小林誠	高等研究院アカデミー会員		
40	4	佐藤彰一	高等研究院アカデミー会員		
40	5	下村脩	高等研究院アカデミー会員		
40	6	野依良治	高等研究院アカデミー会員		
40	7	益川敏英	高等研究院アカデミー会員		

40	8	名古屋大学レクチャー		2008.7.12	
40	9	高等研究院		2004.1	
41	1	宇宙基礎原理の探求-素粒子から太陽系、宇宙に至る包括的理解-	グローバル COE プログラム		
41	2	マイクロ・ナノメカトロニクス教育研究拠点	グローバル COE プログラム		
41	3	分子性機能物質科学の国際教育研究拠点形成	グローバル COE プログラム		
41	4	地球学から基礎・臨床環境学への展開	グローバル COE プログラム		
41	5	機能分子医学への神経疾患・腫瘍の融合拠点：LC-MS 装置	グローバル COE プログラム		
41	6	システム生命科学の展開：生命機能の設計	グローバル COE プログラム		
41	7	テクス卜布置の解釈学的研究と教育	グローバル COE プログラム		
42	1	国際学術コンソーシアム (AC21) 設立		2002.6.24	
42	2	第1回 AC21 学生世界フォーラム		2005.7.29～8.8	
42	3	タイ・チュラポーン研究所、チュラポーン大学院大学との学術交流協定調印	署名後、文書を取り交わす平野総長とチュラポーン王女	2008.1.21～23	
42	4	留学生のための就職ガイダンス	模擬面接の様子	2008.2.21	
42	5	名古屋大学-UCLA 国際シンポジウム		2007.3.26～27	
42	6	卒業・修了留学生を送るタベ		2009	
43	1	第1回インターネットチャネルアドバイザーボード		2006.2.6～7	
43	2	中日新聞	名大、上海事務所オープン	2005.11.11	

43	3	ベトナム日本法教育研究センター開所式	握手するタム学長と松浦 法学研究科長	2007.9.7	
43	4	カンボジア日本法教育研究センター開所式	寛書に署名する松浦法学 研究科長とイ学長	2008.9.5	
43	5	成均館大学が名誉博士号を瀧口総長に授与	名譽博士号授与式の様子	2009.7.27	
43	6	国際交流プログラム「スモールワールド・ コーヒーアワー」にて		2007.5	
43	7	留学生センター		2001 竣工	
44	1	国際開発研究科		1991 設置	
44	2	多元数理科学研究科		1995 設置	
44	3	環境科学研究科		2001 設置	
44	4	情報科学研究科		2003 設置	
44	5	4年一貫教育を開始		1994.7.20	
44	6	医学部保健学科	銘板を掲げる加藤総長	1997 設置	
44	7	国際言語文化研究科設置記念式典	式辞を述べる松尾総長	1998 設置	
45	1	「国立大学法人名古屋大学」の看板除幕	平野総長のテーマカクト	2004.4.1	
45	2	中日新聞	国立大法人化「競争の時 代」へ覚悟	2004.4.1	
45	3	毎日新聞	名大が第1回の経営協議 会開く	2004.4.4	
45	4	第1回経営協議会		2004.4.3	
46	1	入学式	平成14年度入学式の模様	2002.4.8	

46	2	総長講義「名大の歴史をたどる」	講義する平野総長と聞き入る学生たち	2007.6.26	
46	3	医学部診療シミュレーション室で医療面接の練習			
46	4	(名大観世会)	名古屋能楽堂で行われた自演会 能「船弁慶」	2007.12.8	
46	5	(軽音楽部)	名古屋市青少年文化センターで行われた定期演奏会の様子	2009.1.17	
46	6	卒業式にて	豊田講堂前での集合写真	2005.3.25	
46	7	合格発表	胴上げされる受験生	2006.3.9	
47	1	第46回名大祭	ステージで踊る学生の姿	2005.6.2～5	
47	2	名古屋大学フオーミュラチーム準優勝	開発マシンの前にした記念写真	2006.9	
47	3	女子陸上競技部 全日本大学女子駅伝出場	記念写真	2007.9.2	
47	4	(航空部)	木曽川滑空場で行われた新入生向けグライダー体験搭乗	2008.4.19	
47	5	(柔道部)			柔道部提供
47	6	(新緑の東山キャンパス)	グリーンベルト横の小路	2009.4.13	
47	7	「フアミリーマート 名古屋大学店」オープン	平野総長のテープカット	2006.7.24	
47	8	和式馬術部	流鏑馬デモンストラーションの様子	2007.11.4	

48	1	〔「名古屋大学ホームカミングデー」のアーチと豊田講堂〕	第1回ホームカミングデー	2005.10.23	
48	2	F1カーの展示	第1回ホームカミングデー	2005.10.23	
48	3	サイエンスショー	第4回ホームカミングデー	2008.10.18	
48	4	第15回名古屋大学博物館企画展		2008.10.7～11.8	
48	5	全学同窓会でありさつする豊田章一郎会長		2004.10.27	
48	6	宇宙飛行士の星出彰彦さんを開む会	第2回ホームカミングデー	2006	
48	7	名古屋大学全学同窓会第3回総会	男性合唱団OBによる合唱	2004.10.17	
48	8	名古屋大学全学同窓会北京支部設立	記念撮影	2007.5.21	
49	1	博物館「ミクロの探検隊」			
49	2	日本数学コンクール	真剣に問題に取り組み参加者の様子	2006.8.13	
49	3	附属図書館特別展			
49	4	大学文書資料室	豊田講堂改修竣工式・ホームカミングデー		
49	5	名古屋大学懇話会	加藤総長と懇話会第7回会合	1997.2.24	
49	6	災害対策室の中越沖地震災害への支援活動に対する感謝状贈呈式		2008.7.1	
49	7	「古紙・紙ごみ再資源化システム」スタート		2000.10.1スタート	
49	8	下宿用品リユース市		2006.4.4	
49	9	「名チャリ」プロジェクト		2006年度スタート	

50	1	テクノフェア 2008			
50	2	テクノフェア 2008			
50	3	第1回名古屋大学東京フォーラム		2003.12.17	
50	4	第1回名古屋大学東京フォーラム		2003.12.17	
50	5	第4回名古屋大学東京フォーラム		2006.12.4	
50	6	第3回予防早期医療創成プロジェクトシンポジウム		2009	
50	7	第3回予防早期医療創成プロジェクトシンポジウム		2009	
51	1	東山地区	航空写真	2009.3.21	
51	2	鶴舞地区	航空写真	2009.3.21	
51	3	大幸地区	航空写真	2009.3.21	
52	1	名古屋大学シンポジオン		1992年竣工当時	
52	2	広報プラザ		1993年竣工	
52	3	看護師宿舍	鶴舞地区	2008 竣工	
52	4	赤崎記念研究館		2006 竣工	
52	5	グリーンペルト			荒川印刷提供
52	6	国際喫煙館		2002 竣工	
52	7	IB 電子情報館		2003 完成	
53	1	野依記念物質科学研究館		2003 竣工	
53	2	理学館		2003 竣工	
53	3	文系総合館		2002 竣工	

53	4	野依記念学術交流館			2003 竣工	『TOYODA AUDITORIUM』、 豊田講堂改修竣工式・同竣工記念ホームカミング大会イベント
54	1	改修後の豊田講堂				
54	2	豊田講堂2階展示室			2008.6.7	
54	3	附属病院中央診療棟	鶴舞地区		2005 竣工	
54	4	フオレスト	書店とカフェ		2006 竣工	
54	5	こすもす保育園			2006 設置 2009 増築	
54	6	こすもす保育園			2006 設置 2009 増築	
54	7	全学教育棟			2009 竣工	
54	8	医学部保健学科東館	大幸地区		2006 竣工	
コラム		名古屋大学の学術資源④				
55	1	長谷川文庫	ドイツの学位論文と書庫			附属図書館所蔵
55	2	真継家文書	写真は固関勅符（延享4〔1747〕年）			文学研究科所蔵
55	3	瀧川文庫	瀧川幸辰肖像写真と書庫			附属図書館所蔵
55	4	イギリス革命関係文献コレクション	書庫			経済学図書室所蔵
55	5	旧制学校一覧				教育発達科学図書室

付録	1	完成後ノ名古屋帝國大學 其ノ一	繪葉書	1943.5.1	大学文書資料室所蔵
付録	2	完成後ノ名古屋帝國大學 其ノ二	繪葉書	1943.5.1	大学文書資料室所蔵
資料編 (p. 57~63)					
	60	平成 21 年度入学式	濱口総長	2009.4.5	
	62	日本法教育センター 3 周年記念レセプションパーティー	左：モンゴル教育科学省 クランザー副大臣		
	63	1 生命農学研究科附属フイールド科学教育研究センター 東郷フイールド			
	63	2 理学研究科附属臨海実験所	外観		
	63	3 太陽地球環境研究所ジオスペース研究センター 陸別観測所	外観		
口 絵	1	名古屋帝国大学新敷地並建物配置図	東山地区	1943	「名古屋帝国大学要覧」

【注記】

- 1、NUA 写真フイールとは、名古屋大学創立五〇周年を記念して作成された『写真集 名古屋大学の歴史 1871～1991』作成の際に収集された写真及び接写写真に目録を付した大部のフイールであり、名古屋大学文書資料室 (NUA) が所蔵している。
- 2、卒業アルバムなどのアルバム類で名称が付されていないものについては、適宜内容から判断して名称を付した。
- 3、個人の所蔵、あるいは個人から提供を受けたものについては、「個人蔵」とした。

注

- (1) 四名の事務補佐員は井筒康人（名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期課程）、淺野麻衣（名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期課程）、伊藤光雅（名古屋大学大学院文学研究科博士課程前期課程）、山田裕輝（名古屋大学大学院文学研究科博士課程前期課程）である。
- (2) 名古屋大学史編集委員会『写真集 名古屋大学の歴史 1871～1991』（名古屋大学出版会、一九九一年）。
- (3) 名古屋大学庶務部庶務課『名古屋大学の歩み（一九八九年）』。また、各部署でも創立五十周年などを記念して写真集が刊行されている。例えば、名古屋大学法学部では創立五〇周年を記念して『名古屋大学法学部創立五十周年記念写真集』（名古屋大学大学院法学研究科・法学部、二〇〇〇年）が、創立六〇周年を記念して『名古屋大学法学部創立60周年記念写真集』（名古屋大学法学研究科・法学部、二〇〇九年）が刊行されている。
- (4) 名古屋大学文学書資料室の前身名古屋大学史編集室が収集した名古屋大学関係の写真点数は六五〇〇枚余であり、そのうちの約一〇分の一が『写真集』に掲載された（加藤延夫「編集後記」（前掲『写真集』巻末））。
- (5) 大学文書資料室所蔵資料として、『七〇周年記念図録』には「名古屋帝国大学之印」（九頁）や「名古屋帝国大学開学記念絵はがき」など（二四頁）の貴重なモノ資料、「鶴舞公園の竜ヶ池から見た愛知県立医学専門学校」（『大正六年 愛知県立医学専門学校記念帖』所収、一二頁）などの重要な写真資料を掲載した。
- (6) 『名大トピックス』は一九九三年二月の創刊号以降、二〇〇九年十二月現在で一九九号を数え、現在は名古屋大学広報室が編集・発行を行っている。『名大トピックス』は名古屋大学の構成員間の意思疎通を図ることを目的とし、名古屋大学の主要な出来事や話題などのニュース性を重視した記事を中心に提供している冊子である。
- (7) その後、経済学図書室からさらに卒業アルバム一冊が発見された。
- (8) 二〇〇九年十二月、法学部の倉庫からさらに卒業アルバムが多数発見された。これらは、『七〇周年記念図録』刊行後に発見されたため、残念ながら『七〇周年記念図録』には掲載できなかった。

(9) なお、このアルバムは末尾の注記で「法学部 豊田講堂等」との記載がなされている。また、「東北大学祖川武夫教授が名大を視察に来て撮影したもの」とあり、二〇〇三年五月七日に富岡仁教授（名古屋大学法学部助手などを経て現在名古屋経済大学教授）より寄贈されたことが記されている。

(10) 山口拓史『豊田講堂―Toyoda Auditorium―』（名大史ブックレット9、二〇〇四年）、二九頁。

(11) 一九五六年の理学部化学教室卒業生は一五名、その内三名が女性であった（『化学教室名簿』）。当該期の名古屋大学全体の学生に占める女性の割合は史料の制約上不明であるが、化学科では一九四四年の第一回卒業生以降、一九五一年まで女性の卒業生は存在しなかった。しかし、一九五二年の一名を皮切りに、一九五三年（旧制二名）、一九五三年（新制二名）、一九五四年（二名）、一九五五年（二名）、一九五六年（三名）、一九五七年（〇名）と、一九五七年を除き、ほぼ毎年のように卒業生を輩出している（『化学教室名簿』）。なお、グラビア印刷用刷板（銅版）の技術については、日本大学芸術学部写真学科の高橋則英教授のご教示を受けた。紙上を借りて改めて謝意を表したい。

(12) なお、この年には大型計算機センター一〇周年を記念して、『10年史 名古屋大学大型計算機センター』が刊行された。残存した写真資料が一九七〇〜一九八一年までに限定されるのは、こうした背景が一因と考えられる。

(13) 本稿では、紙幅の関係上紹介しきれなかったが、この他にエコトピア科学研究所超高压電子顕微鏡施設、数理科学図書室、生命農学図書室、文学研究科、文学図書室、教育発達科学図書室、理学部物理学教室素粒子論研究室（E研）、太陽地球環境研究所、博物館、附属図書館および附属図書館研究開発室などの学内各部局から資料提供を受けた。また、総務部秘書室、総務部総務課、施設管理部などの本部事務局やグローバルCOEからも資料提供を受けている。さらに、体育会柔道部や名大祭本部実行委員会、学内関係者に加えて、共同通信社、中日新聞社、毎日新聞中部本社、朝日新聞名古屋本社、奥州市立後藤新平記念館などの学外諸機関からも資料提供を受けた。紙上を借りて改めて謝意を表したい。

（なかもと・たかとし 大学文書資料室）